

第11回高知県消防広域化推進検討委員会（審議概要）

日 時：平成20年2月19日（火）13:30～15:00

場 所：高知城ホール2F 大会議室

1. 開会

2. 議事

①市町村町長との意見交換の報告

岡林消防政策課長より1月10日から2月5日にかけての全市町村長との協議結果、主な意見についての報告を行う。

《委員の質疑》

（山中委員）

岡林課長からの報告に補足させていただく。高知市は山下副市長が対応し、「設立以来60年をかけて築いた消防体制への想いがある。」ことや「広域化は1本化ありきで進めてもらいたくはない」といったことを話させていただいた。

あと、面談後の雑談では、「消防体制の維持と人口減による基準財政需要額への影響は大きな課題である。広域化したとしても人口減の中で体制を維持していくことはなかなか難しいのではないか、広域化とともに体制の縮小も考えないといけないのでは」といった話もあった。

（根小田座長）

今の意見について事務局の意見は、1100人の消防職員体制を維持するとして、その場合の財政負担などはどうなのか。実現は無理なのではないか。

（事務局）

この推進計画の骨子として、広域化によって現状を少しでもよくするとともに、より大きくなった組織で、弾力性をもって厳しい将来に対応しやすくするというのが狙い。

広域化しても行き詰まってしまうえば人員の減や署所の廃止はあるだろうが、そうした事態に今のままの小規模な15本部それぞれで対応するのではなく、より大きな組織で少しでも対応しやすくするというのが理念である。

（岡崎委員）

消防団のことに言及された市町村長さんもいたようだが、その意見は「団についても広域で考えよう」という意見だったのか。

（事務局）

今は小さい範囲でそれぞれ消防団があるが、もう少し大きな範囲で考えることで、機材の整備など効率性が上がるのではという主旨の意見だった。

（岡崎委員）

「小さな範囲」と言われるが、私は「地域密着」ということを考えればそうした小さな団が必要だと考えている。

②推進計画（案）について

岡林消防政策課長より前回検討委員会の意見を受けて修正した箇所の説明

《各委員の質疑》

（夕部委員）

8ページの表だが、私は前回の表のほうが良かったと思う。確かに職員充足率は低いが、それは今現在やむを得ない状況にある。これが広域化によって直ちに良くなるというものでもないが、上げていく努力はしていくべきと思う。逆説的な意味で充足率が低くても載せておくべきと思う。

（事務局）

市町村長さんからの意見で、「車両や人員の基準数の取扱いが、各本部で若干の違いがあるようであり、こうして一覧にするのはどうか」という意見を受けた。県としても、この表で見ていただきたかったのは「県全体の充足率」であったため、個別の充足率は外すという整理を行った。

（夕部委員）

21ページに「自主的な防災組織」を追加していただいたようだが、もう一つ「消防団」も入れた方がよいと思う。

（山中委員）

推進計画の中身の問題とは少し違うが、14ページにあるように、平成42年には基準財政需要額が現状より21億円も減少する。このことは今後の議論で大きなポイントになると思う。先ほどの市町村長の意見にもあったが、「財政負担が増えるのは困る」ということが本音である一方、指令業務など負担増の要素も広域化は含んでいる。今後よく検討する必要があると思う。

（岡崎委員）

8ページの各消防本部の車両数の表だが、これで間違いないか。室戸などは多すぎるように感じるが・・・

（事務局）

これも各消防本部の考え方で若干の相違がある。特殊車両などのとらえ方に差異があるようだ。この点は再度チェックし、整理しておく。

（濱口委員）

細かい点をチェックさせていただくと、

- ・ 2ページの「併せた」
- ・ 4ページの「来ました」はこの漢字で良いのかと思う。
- ・ 5ページの「併せた」
- ・ 7ページ以降の表については、例えば「表－1」などの表記をして、本文の参照して欲しいところに「表－1参照」などの追記を入れることですっきりしないか。
- ・ 8ページの「状況です」に句読点がない。
- ・ 14ページの表に単位がない。

（事務局）

修正させていただく。

(根小田座長)

17ページなど、文章表現で「支援から積極的な表現に変えた」ということだが、あまり変わらないのでは。

(事務局)

当初から積極的に関わっていくという心づもりだが、「支援」という表記で消極的に受け止められるならば変更した方がよいとの判断。

(山中委員)

全国消防長会から、この広域化の問題については、消防庁も都道府県も財政的な支援も含めて積極的に関わって欲しいという主旨の要望書が提出されると聞いている。よろしくお願したい。

(根小田座長)

1ブロックになるなら、県の関わり方も大きく変わってくるのではないかと思う。

(中村委員)

私もいくつかの市町村長を訪問したが、一般論として広域化への理解は得たが、個別には細かいところで温度差が色々ある。今後は細かい点の議論を深め、全市町村で「広域化像の共有」を図る必要がある。そのためには、県も一生懸命やるが、実際に業務に携わっている各市町村・消防本部の積極的な取り組みが欠かせない。来年度以降県と市町村一帯となって取り組んでいきたいと思う。

(夕部委員)

16ページだが、一番肝心のブロック案の所の記載が弱いように感じる。実際にはこの検討会でも色々意見があったと思う。そうしたところも含めてもう少し厚く書けないか。

もうすこし「こういう意見もあった、けれどもこの(1本化)の方向になった」という書き方をしても良いと思う。

(事務局)

了解

(笹岡委員)

全体を通して県は非常によく書いてくれたと思う。今後は18ページにあげられている課題をどうまとめるかが重要。柔軟性を持って取り組むことが大事。

③その他

今後の取り組みについて、基本的な方向性を岡林消防政策課長より説明。